

科目	地理研究	単位数	2	学年	3	学級	全	学科	全
----	------	-----	---	----	---	----	---	----	---

学習の到達目標	平行して履修している地理Bの内容について、発展的な思考につなげることのできる深い理解を求める。この実現の為に練習問題に数多く取り組み、知識の定着を図る。
使用教科書 副教材等	新詳地理B（帝国書院） 現代地図帳（二宮書店）

学期	月	学習項目	学習内容の説明	
前期	4	I さまざまな地図と地理的技能 1 地理情報と地図	* 系統地理的な視点、及び地域的な地誌的な視点から地理的事象を考察する練習を行う。 * 各種地理的技能を用いて地理的事象を表現、理解、分析、考察する方法を学ぶ。 * 関連分野の問題演習を行う。	
	5	① 現代世界の地図 ② 地図の種類とその利用 ③ 地理情報の地図化 2 地図の活用と地域調査		
	6	II 現代世界の系統地理的考察 1 自然環境		
	7	① 世界の地形 ② 世界の気候 ③ 日本の自然の特徴と人々の生活 ④ 環境問題		
	9	2 資源と産業 ① 産業の発達と変化 ② 世界の農林水産業 ③ 食料問題 ④ 世界のエネルギー・鉱産資源 ⑤ 資源エネルギー問題 ⑥ 世界の工業 ⑦ 第三次産業 ⑧ 世界を結ぶ交通・通信		
	後期	10	3 人口、村落・都市 ① 世界の人口 ② 人口問題 ③ 村落と都市	* 研究の成果をレポートにまとめ、さらに発表のためのプレゼンテーションを工夫する。 * 関連分野の問題演習を行う。
		11	④ 都市・居住問題 4 生活文化、民族・宗教 ① 生活文化、民族と宗教	
		12	② 現代世界の国家 ③ 民族・領土問題	
		1	III 現代世界の地誌的考察 1 現代世界の地域区分 2 現代世界の諸地域 ① アジア ② アフリカ ③ ヨーロッパ ④ アメリカ ⑤ オセアニア 3 現代世界と日本	
			* 研究成果の発表を行う。 * 関連分野の問題演習を行う。	

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	世界の国々や自然環境などに興味を持ち、地理の基礎知識を身に付けるために意欲的に学習に取り組んだか。作業学習などを丁寧に進められたか。
	思考・判断・表現	地理的知識を土台にして、混沌とした世界・社会のさまざまな問題点を、広い視野に立って多角的に考察することができたか。
	資料活用の技能	現代社会の地理的諸事象について、いろいろな資料をさまざまなメディアを通じて身に付け、考察する過程や結果を自分の言葉で適切に表現できるか。
	知識・理解	現代社会の地理的諸事象を考察する上で必要となる基本的知識を身に付けているか。その知識を適切に自分の考察の中で生かしているか。
	評価方法	授業において、レポートや課題などの作成や発表、学習事項の問題演習を行い、その結果を評価の基本ベースとする。 定期考査の実施の有無については、受講生徒の状況に応じて判断する事とする。
担当教諭から	地理は空間を対象とするあらゆる学問にとって基礎的な知識を提供する科目であると同時に、文系・理系の垣根を越えた多方面の総合的な知識も要求される科目である。生きる力を養う重要な科目である。	